

科目名 Course Name	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門) Social Work Basics and Specialization (Specialty)			ナンバリング No.	12-007		
年次	1年	単位数	後期	授業形態	2	授業形態	講義
担当者氏名	吉田 志保						
連絡方法	福祉棟3階研究室かC-Learning に対応。オフィスアワーは初回授業時に説明する。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修) ※前期科目「ソーシャルワークの基盤と専門職」を履修済みの者のみ履修可。						
関連 DP	DP2 DP3						
授業の概要と到達目標	初めにソーシャルワークの形成過程、専門職倫理を学ぶ。専門職としてのソーシャルワークの概念、範囲について明らかにした上で、総合的かつ包括的な相談援助について概説する。 ① 社会福祉士の職域と役割について説明できるようにする。 ② ソーシャルワークの対象のマイクロ・メゾ・マクロレベルの連関性について説明できるようにする。 ③ 具体的な事例と意見交換を通じて、理論に基づいた検証と考える力を身につけるようにする。						
授業の方法	講義形式およびグループ討議での振り返りを行う等アクティブラーニングの技法を取り入れる。						
学習成果	L01						
	L02	ソーシャルワークの概念、範囲について説明することができる。					
	L03	事例を読み理論に基づいた検証を考えることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テスト等を実施後、模範解答を示し、各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	教科書「ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ(応用)」 杉本敏夫監修 ミネルヴァ書房						
履修上の留意点やルール等	●テキスト等を必ず持参する。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業への積極的参加(遅刻・私語・居眠り等は厳禁)を評価。ノートをきちんととり、不明な点があれば積極的に質問する等。		10	10	
レポート/作品	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。			10	
発表	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。最高評価であるSは意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。		10		
小テスト					
試験	試験を行い評価する。課題を十分に考察して解答しているかにより評価する。解答は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられている。		30	30	
その他					
合計			50	50	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスの説明、受講上の留意点等)
	事前・事後学習	シラバスを読んでおく。
2	授業内容	ソーシャルワークに係る専門職と概念と範囲① 福祉関係
	事前・事後学習	テキストの該当部分を読む。
3	授業内容	ソーシャルワークに係る専門職と概念と範囲② 医療関係 教育関係
	事前・事後学習	テキストの該当部分を読む。
4	授業内容	ソーシャルワークに係る専門職と概念と範囲③ 司法関係
	事前・事後学習	テキストの該当部分を読む。
5	授業内容	ソーシャルワークに係る専門職と概念と範囲④ 独立型事務所
	事前・事後学習	テキストの該当部分を読む。
6	授業内容	ソーシャルワークに係る専門職と概念と範囲⑤ 福祉行政における専門職
	事前・事後学習	テキストの該当部分を読む。
7	授業内容	ソーシャルワークに係る専門職と概念と範囲⑥ 民間の施設・組織における専門職
	事前・事後学習	テキストの該当部分を読む。
8	授業内容	ソーシャルワークに係る専門職と概念と範囲⑦ 諸外国の動向
	事前・事後学習	テキストの該当部分を読む。
9	授業内容	マイクロ・メゾ・マクロにおけるソーシャルワーク① ミクロ・メゾ・マクロレベルの意味と対象
	事前・事後学習	テキストの該当部分を読む。
10	授業内容	マイクロ・メゾ・マクロにおけるソーシャルワーク② ミクロ・メゾ・マクロレベルへの介入、連関性
	事前・事後学習	テキストの該当部分を読む。
11	授業内容	マイクロ・メゾ・マクロにおけるソーシャルワーク③ ミクロ・メゾ・マクロレベルの支援の実際
	事前・事後学習	テキストの該当部分を読む。
12	授業内容	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容① 多職種による包括的支援体制
	事前・事後学習	テキストの該当部分を読む。
13	授業内容	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容② フォーマル・インフォーマルな社会資源との共同体制
	事前・事後学習	テキストの該当部分を読む。
14	授業内容	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容③ 多職種連携及びチームアプローチの意義
	事前・事後学習	テキストの該当部分を読む。
15	授業内容	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容④ 利用者、家族の参画、授業のまとめ
	事前・事後学習	テキストの該当部分を読む。15回の授業を振り返る。